

サブ課題C（沢田チーム）：構造物点検・診断のためのシーズ試行場の提供 - 各務原大橋の2巡目定期点検における点検支援技術・AI技術等を活用した橋梁点検現場見学会を行いました（サブ課題B連携）



令和5年12月14日
於：各務原大橋



▲レーザー打音点検説明の様子（サブ課題B連携）

▲レーザー打音の様子

第1期SIPでロボット点検などの橋梁点検支援技術を実証の場として、我が国の橋梁の中で、ロボット点検等技術実装のさきがけとなった各務原大橋（長大PC橋）の2巡目点検の機会に合わせ、第3期SIPのサブ課題C「地方自治体等のヒューマンリソースの戦略的活用」の岐阜大学の小テーマ「構造物点検と診断のためのシーズ試行場の提供」の下、点検支援技術・AI技術等を活用した橋梁点検技術の現場見学会を行いました。サブ課題Bとも連携し、開発が進められている「レーザー打音点検」などのシーズ試行場として現場を提供しました。見学会には、地方公共団体職員、ME取得者、橋梁点検技術者など約200人が参加しました。当初募集人数を大幅に超える多数の応募があり、多くの希望者に対してお断りすることになったが、このように地方公共団体職員等からもシーズ試行の場としての期待が非常に高いことがわかりました。



▲橋梁点検ロボットの説明の様子



▲橋脚基礎洗掘点検ロボットの様子